

News

第19回日本フードファクター学会学術集会

11月8日(土)～9日(日)、鹿児島大学郡元キャンパスにおいて第19回日本フードファクター学会学術集会が開催され、宮崎泰一(M2)が発表を行った。



発表を行う宮崎(M2)。「焼酎で英気を養い、そのパワーを炸裂させて発表を乗り切りました。」とは本人談。

金沢さん歓迎会

11月13日(木)、今期から博士課程後期課程の学生として新たに研究室に加わった金沢功(D1)の歓迎会が行われた。歓迎会では、少しでもはやく覚えてもらえるよう一人一人が個性的な自己紹介を行った。また、質問タイムも設けられ、特にお子さんの話や奥さんとの馴れ初めの話に注目が集まった。そして話題は研究内容に……彼の今後の活躍に期待。



自己紹介を行う金沢(右、D1)と興味津々の研究室メンバー。左から山下紗枝(M1)、藍原祥子助教。

兵庫高校の生徒さん来訪

11月17日(月)、兵庫高校1年生の生徒さんが本研究室を訪れ、研究室紹介や実験室の見学が行われた。研究室を訪問するのは初めてのようで、見慣れない器具や装置に興味を示している様子であった。



パワーポイントを使って研究室の紹介を行う山下(M1)と、熱心にメモをとりながら話をきく高校生たち。



研究室見学において大人数に囲まれながら実験を行う小寺裕貴(中央、M2)と説明を行う山下(右端、M1)、網野紗与(左端、M1)。どうやらビペットマンの説明を行っている様子。

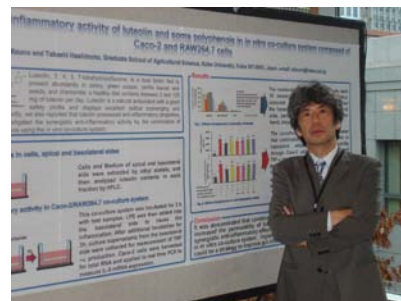


クリーンベンチで実験を行いながらもジョークで場を盛り上げようと試みる宮崎(右、M2)と高校生たち。

高校生たちは文理選択もまだということで、今回の経験が少しでも進路選択の役に立てば幸いだ。

水野教授シアトルへ

11月19日(水)～23日(日)、アメリカのシアトルで開催された Society of Free Radical Biology and Medicine 21st Annual Meeting に水野雅史教授が参加された。



発表ポスターの前で記念撮影を行う水野教授。



水野教授のある日のお食事、シアトル名物のクラムチャウダー。そのお味はいかに？



日本では見かけない唐辛子でつくったクリスマス飾り。11月のシアトルはすっかりクリスマスモードに包まれているようだ。

誕生日パーティー

11月21日(金)、11月に誕生日を迎えた大浦圭吾(M2)、滝沢彰良(M2)、横山友紀(M2)、網野(M1)の誕生日パーティーが行われた。写真にもあるように、最近

はホールケーキではなくロールケーキにろうそくを刺すスタイルが主流になってきているようだ。さらに後日、滝沢(M2)の希望により大学近くのカフェで購入したチーズケーキでもお祝いが行われた。この研究室は甘いものの好きが多いようである。



誕生日を迎えた3人。左から横山(M2)、網野(M1)、滝沢(M2)。大浦(M2)は実験中のため写真には写れず。

編集後記

こうしてみると意外に11月も様々なイベントがあり楽しかったです。12月も楽しいイベントが満載ですが卒論提出も近いので気を引き締めていきたいです。

中村紫乃(B4)

論文・学会発表

学会発表)

第19回日本フードファクター学会
学術集会
鹿児島大学郡元キャンパス
2014年11月8日(土)-9日(日)

○宮崎泰一、橋本堂史、藍原祥子、北森一哉、水野雅史
「SHRSP5/Dmcr ラットにおける非アルコール性脂肪性肝疾患に対するクロロゲン酸の抑制効果」講演要旨集 p.70

Society of Free Radical Biology and Medicine 21st Annual Meeting, 19-23 November, 2014, Seattle, WA, USA.

○Mizuno, M. and Hashimoto, T.

Synergistic anti-inflammatory activity of luteolin and some polyphenols in in vitro co-culture system composed of Caco-2 and RAW264.7 cells